

令和6年度 新潟県肺がん検診精度管理調査結果

1 全体概要

(1) 調査目的

がん検診の効果を得るためにきわめて重要な精度管理について、適切な実施状況を把握するため、新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん検診部会が行ったもの（注：職域検診や人間ドックは本調査の対象外）

(2) 調査対象

肺がん住民検診を行っている県内の全市町村、検診機関（病院、診療所等を含む）

(3) 調査内容

① 検診実施体制

- ・「がん検診事業評価のためのチェックリスト」による遵守状況調査
各機関が遵守すべき精度管理の要点を定めた「肺がん検診のためのチェックリスト」の遵守状況に関する調査

② 精度管理指標

- ・各市町村が集計した精度管理指標（プロセス指標）の数値（令和4年度分）※
肺がん検診の精度指標のうち、5項目を選び市町村ごとに調査
※ 指標の確定までに1年以上かかるため、令和4年度分についての調査

2 「がん検診事業評価のためのチェックリスト」による遵守状況調査

(1) 概要

平成20年3月「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）」（厚生労働省）において示された、各機関が遵守すべき精度管理の要点を定めた「肺がん検診のためのチェックリスト」の遵守状況に関する調査

(2) 評価基準（下表参照）

チェックリストの非遵守項目が少ない順に段階評価を行い、「C」評価以下の検診機関・市町村には改善を依頼

評価基準		チェックリストの非遵守項目数による評価 ※	
		検診機関（項目数：41）	市町村（項目数：56）
A	チェックリストをすべて満たしている	0	0
B	チェックリストを一部満たしていない	1～8	1～8
C	チェックリストを相当程度満たしていない	9～16	9～16
D	チェックリストを大きく逸脱している	17～	17～24
E	チェックリストをさらに大きく逸脱している	—	25～32
F	チェックリストをきわめて大きく逸脱している	—	33～
Z	調査に対して回答がない	無回答	無回答

※ 検診機関は5段階、市町村は7段階の区分で評価

(3) 調査結果

① 検診機関

集団検診：10施設 回答率：100%…評価C以下：なし

検診機関名	評価	検診機関名	評価	検診機関名	評価
新潟県保健衛生センター	A	上越地域総合健康管理センター	A	南魚沼市立ゆきぐに大和病院	B
新潟県労働衛生医学協会	A	厚生連村上総合病院健診センター	A	厚生連糸魚川総合病院	B
一般財団法人下越総合健康開発センター	A	山北徳洲会病院	B		
柏崎市刈羽郡医師会柏崎メジカルセンター	B	湯沢町保健医療センター	B		

② 市町村

集団検診：30市町村…評価A：14、B：16、C以下：なし

市町村	評価	市町村	評価	市町村	評価	市町村	評価
村上市	B	阿賀町	A	出雲崎町	A	刈羽村	A
関川村	B	三条市	B	小千谷市	A	上越市	B
粟島浦村	B	燕市	B	魚沼市	A	妙高市	B
新発田市	B	加茂市	B	南魚沼市	B	糸魚川市	B
阿賀野市	B	田上町	A	湯沢町	A	佐渡市	B
胎内市	B	弥彦村	A	十日町市	A	新潟市	B
聖籠町	A	長岡市	A	津南町	A		
五泉市	B	見附市	A	柏崎市	A		

（注：本県の肺がん検診では、検診機関・市町村のいずれも個別検診を実施していない。）

3 肺がん検診精度管理指標調査（令和4年度）

（1）概要

前述の「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について（報告書）」における肺がん検診の精度管理指標のうち5項目を選び、市町村毎に調査を実施

（2）調査項目と特徴

NO.	調 査 項 目	算 出 式	数値目標 (国報告書に 記載がある もの)	特徴	
				人口構成や 継続受診者の 比率の影響を 受けるもの	その他
①	受 診 率	受 診 者 数 対 象 者 数	—	○	・市町村間比較を行うために、算出式の分母・分子 ともに国民健康保険被保険者数で計算
②	要 精 検 率	要 精 検 者 数 受 診 者 数	○	○	・許容値3.0%以下
③	精 検 受 診 率	精 密 検 査 受 診 者 数 要 精 検 者 数	○	—	・精度評価の最重要指標 ・新潟県の目標値は100%、許容値は70% (70%以下の市町村には改善を依頼)
④	肺 がん 発 見 率	が ん で あ っ た 者 受 診 者 数	○	○	・許容値0.03%以上 ・受診者が数千人規模の小規模自治体は年度変動が 大きいため3か年平均で算出
⑤	陽 性 反 応 適 中 度	が ん で あ っ た 者 要 精 検 者 数	○	○	・許容値1.3%以上 ・受診者が数千人規模の小規模自治体は年度変動が 大きいため3か年平均で算出

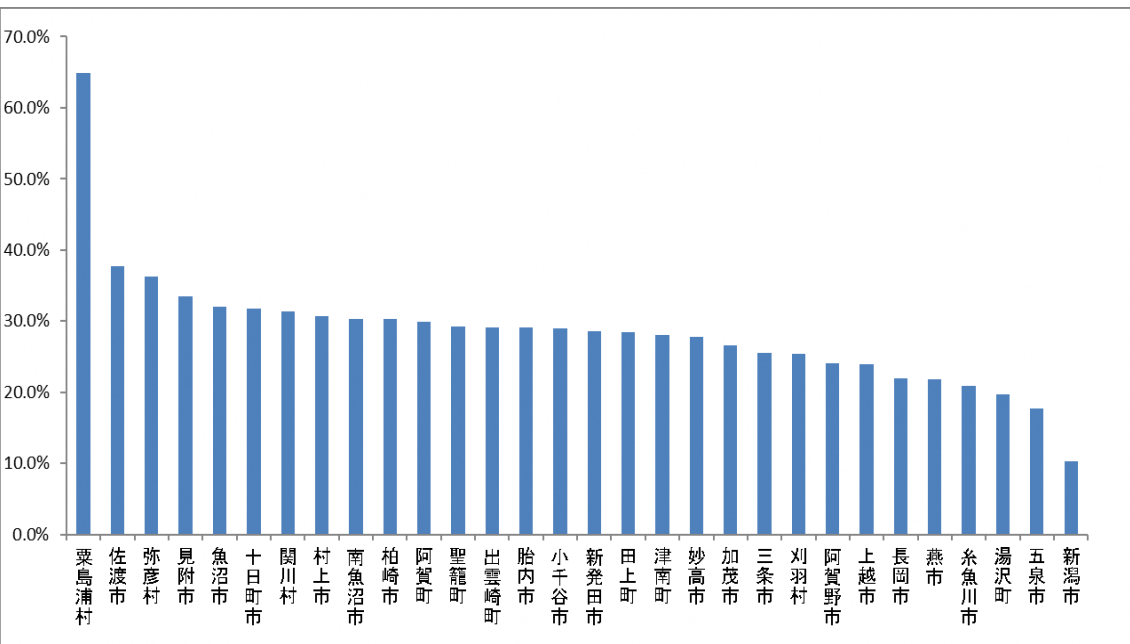
（3）調査結果

① 受診率

・肺がん検診の対象者のうち、受診した者の割合

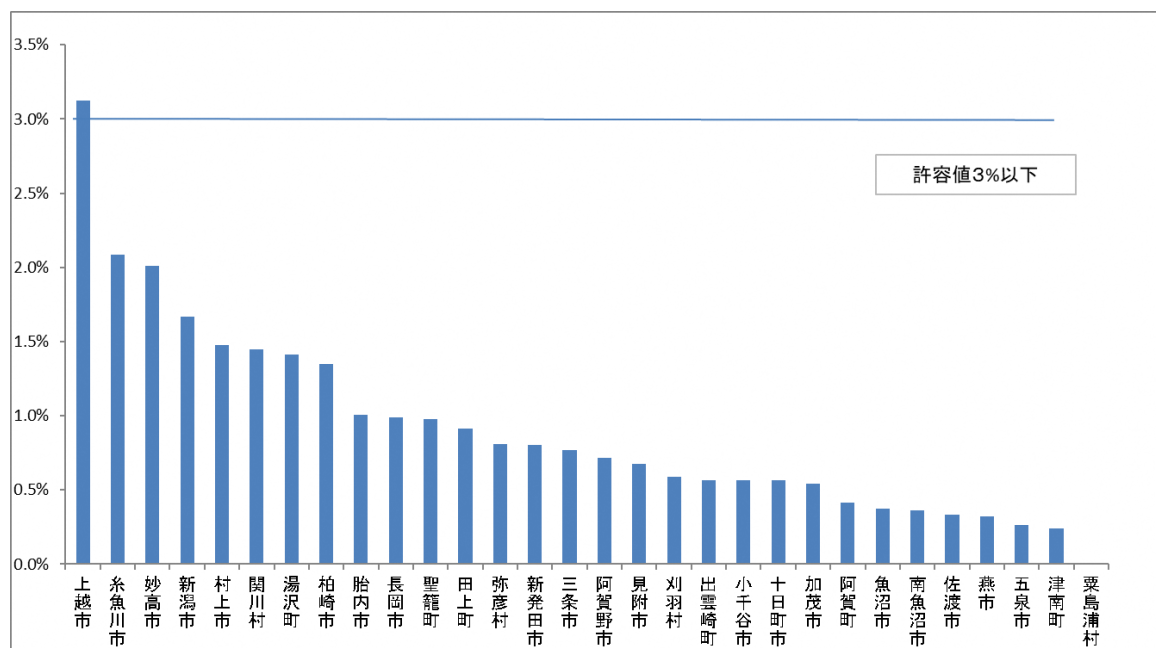
〔対象者数計算式〕

市町村事業におけるがん検診受診者のうち国民健康保険被保険者÷国民健康保険被保険者
（「がん検診受診率等に関するワーキンググループ報告書（H28.9・厚生労働省）」におけ
る計算式（市町村間で比較可能ながん検診受診率（第1指標））



② 要精検率（E 判定）

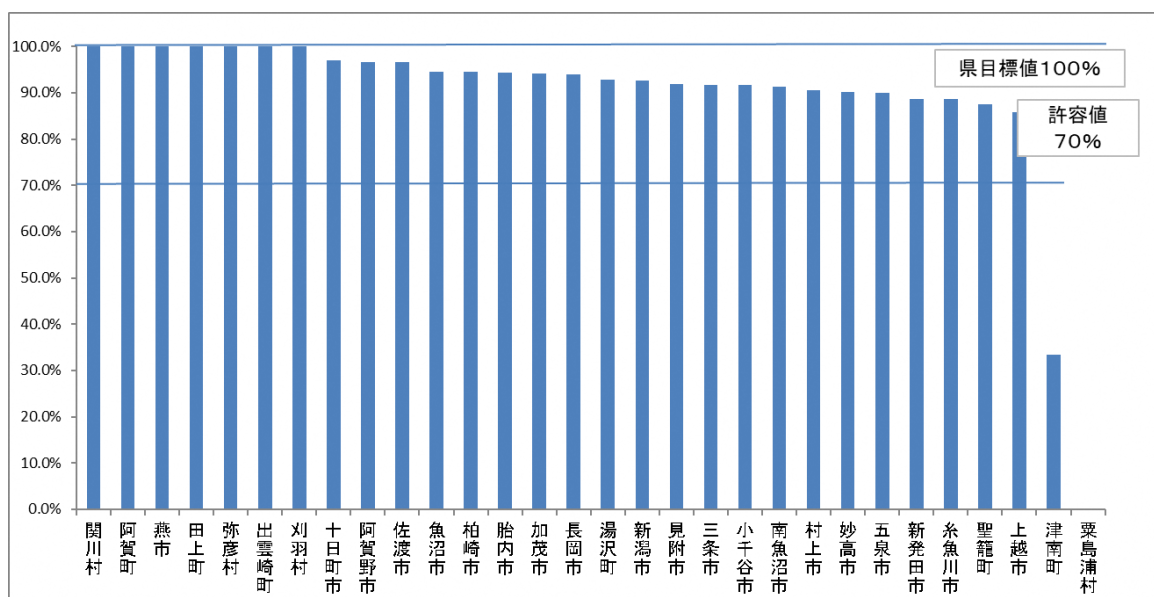
- ・受診者のうち精密検査が必要とされた者^{（注1）}の割合
- ・0 よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい。
- ・許容値は 3.0%以下（受診者 100 人中要精検が 3 人以下）



（注1） 胸部 X 線検査での E1 と E2 の合計数。

③ 精検受診率（E 判定）

- ・「要精密検査」とされた者^{（注2）}のうち、実際に精密検査を受けた者の割合
- ・がん検診の精度評価の最重要指標と位置付けられており、100%に近い方が望ましい。
- ・新潟県では目標値 100%（国は 90%）、許容値 70%以上としている。

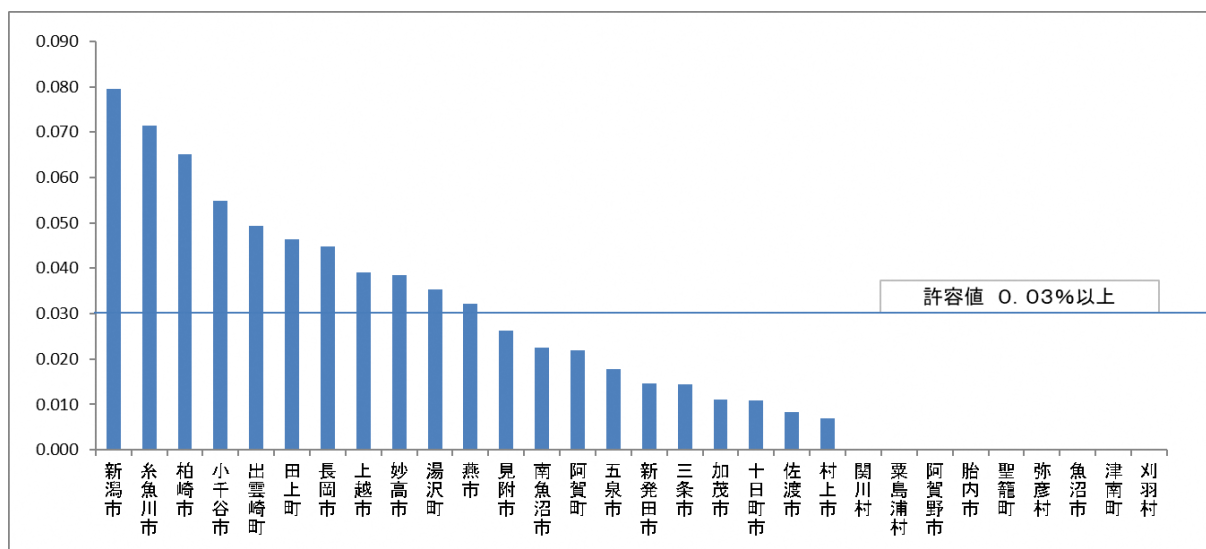


（注2） 胸部 X 線検査において E1 または E2 判定であった者。

粟島浦村については、要精検者 0 名のため対象外。

④ 肺がん発見率（E 判定）

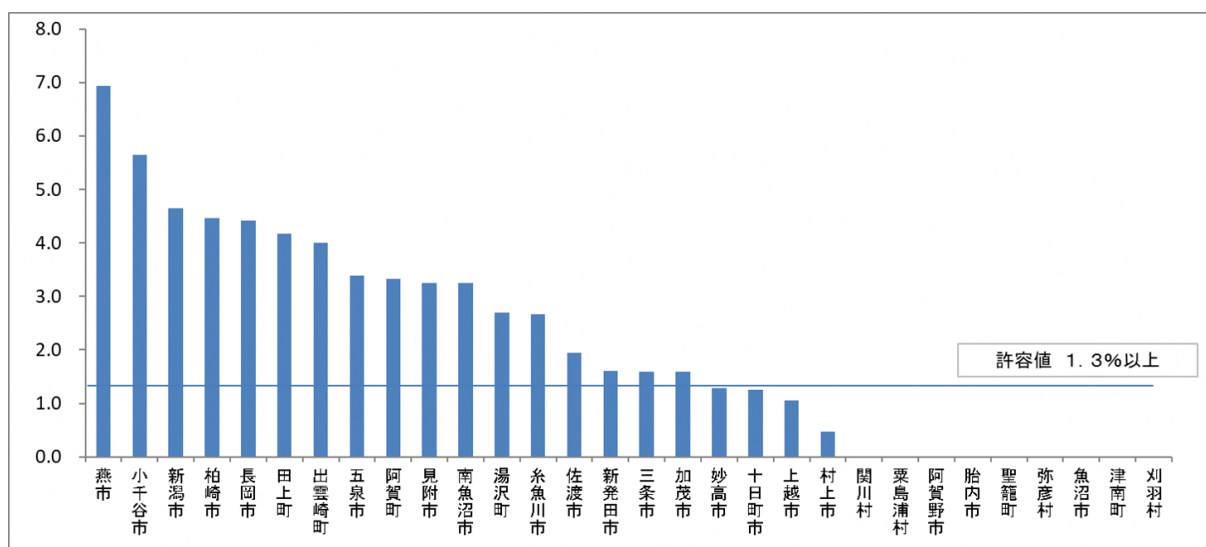
- ・受診者のうち、肺がんが発見された者^(注3)の割合。ある程度高い方が望ましい。
- ・許容値は 0.03%（受診者 1 万人で 3 例の肺がん発見）以上だが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもある。



(注3) 胸部 X 線検査で E1 および E2 判定となった要精検者の中から肺がんと診断された者。

⑤ 陽性反応適中度（E 判定）

- ・「要精密検査」とされた者のうち実際に肺がんがあった者^(注4)の割合。ある一定の範囲内にあることが望ましい。
- ・許容値は 1.3%以上だが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもある。



(注4) 胸部 X 線検査で E1 および E2 判定となった要精検者の中から肺がんと診断された者。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関
検査機関: 肺がん検査精度管理調査	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関	山形県 外 検査 機関	山形県 内 検査 機関
1. 受診者への説明（検査の際、あるいはそれに先立つて受診者全員に対して行う説明）											
(1) 精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があること（精密細胞診で精密検査となった場合は、精密細胞診の結果は不確定であること）を説明しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(2) 精密検査の方法について説明しましたか（精密検査はCT検査や気管支鏡検査により行うこと、及びがんの検査の概要など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検査機関がその結果を共有することを確認しましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(4) 検査の有効性（胸部エックス線検査及び呼吸器への精密細胞診による肺がん検診は、死亡率減少効果があること）に比べて、がん検診が必要となる受診者も増える可能性があること（偽陽性）ががんでもがん検診の結果が「要精密検査」となる場合もあること（偽陰性）など、がん検診の不利点について説明しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(5) 検診期間は1年に1回であり、受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(6) 肺がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(7) 禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の普及等を行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
2. 質問（問診）、及び撮影の精度管理											
(1) 検査項目は、質問（医師が自ら対面で行う場合は問診）、胸部エックス線検査、及び質問の結果、50歳以上で喫煙歴（1日本数×年数）が400以上だった者（過去における喫煙者を含む）への精密細胞診としましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(2) 質問（問診）では喫煙歴、経歴の可能性の有無を必ず確認し、かつ、過去の検査の受診状況等を受診しましたか。また最近3か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなく早やかに専門機関を受診し、精密を行うように勧めましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(3) 質問（問診）記録は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(4) 肺がん検診に連携した胸部エックス線撮影、すなわち、放射線科、呼吸器内科、呼吸器外科のいずれかによる胸部エックス線の品質の評価と、それに基づく指導を行いましたか（注）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	8
(5) 撮影機器の種類（直接・間接撮影、デジタル方式）、フィルムサイズ、モニタ撮影の有無を仕様書※に明記し、日本肺癌学会が定める、肺がん検診として適切な撮影機器・撮影方法で撮影しましたか（注）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(6) 胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(7) 集団検診を実施する検査機関は、1日あたりの実施可能人数を仕様書※に明記しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
(8) 事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に指導を行う責任医師、及び緊急時や必要時に対応する医師 などを明示した計画書を作成し、市区町村に提出しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	8
(9) 緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備していましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(10) 胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備していましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(11) 検診に従事する診療放射線技師が必要教育・研修を受ける機会を確保しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	8
3. 胸部エックス線撮影の精度管理											
(1) 自身体や医師等から求められた場合、撮影医の実績（撮影医の氏名、生年、所属機関名、専門とする診療科目、呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科医師の場合には専門科医師としての経験年数、肺がん検診に従事した年数、肺がん検診に関する研修検討会や検診講習会（注）への参加の有無等）を報告していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(2) 検診は二重撮影を行い、検診に従事する医師は下記の要件を満たしていますか	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	7
(3) 2名の撮影医のうちどちらかが「要比較撮影」としたものは、過去に撮影した胸部エックス線写真と比較撮影しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(4) 比較撮影の方法は、「撮影委員会等を設置して撮影する（あるいは撮影委員会等に委託する）」、「二重撮影を行った医師がそれぞれ撮影する」、「二重撮影を行った医師のうち撮影の立場の異なる医師が撮影するのいずれかにより行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	8
(5) ショウブスキャン・撮影用モニターなどの機器に関しては、日本肺癌学会が定めた基準に準拠していますか（注）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(6) 撮影結果の判定は「肺がん検診の手引き」（日本肺癌学会肺がん検診委員会）の「肺がん検診における胸部エックス線検査の判定基準と指導区分」によって行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(7) 胸部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(8) 胸部エックス線検査による検査結果は少なくとも6年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
4. 精密細胞診の精度管理											
(1) 細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関（施設名）を仕様書※に明記しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7
(2) 採取した喀痰は、2枚以上のスライドに塗抹し、固定剤の上、pHにコロナ色を行いましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(3) 固定液本の菌陽性検査は、公益社団法人日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行いましたか（注）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(4) 同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の医師によりスクリーニングしましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	8
(5) がん発見例は、過去の細胞所見を再直し行いましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(6) 標本は少なくとも5年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
(7) 精密細胞診検査結果は少なくとも6年間は保存していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9
5. システムとしての精度管理											
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村へへの結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内※にされましたか	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	9
(2) がん検診の結果及びそれに関する情報※について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(3) 精密検査方法及び、精密検査（診断、治療方法、手術所見、病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会等から求められた項目の情報収容に適切に記録しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(4) 検診に従事する医師の胸部画像撮影方向のために「肺がん検診に関する市町村検討会や検診講習会（注）」を6年に1回以上開催していますか。もしくは、検診医や検診指導員、あるいは日本肺癌学会が主催する胸部画像の検診に関するセミナー・講習会（注）を年に1回以上受講していますか	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	7
(5) 内部精度管理として、検診実施体制や検診結果の把握・集計・分析のための委員会（自施設以外の専門家等と交えた委員会）を1回以上開催していますか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した同様の委員会に年に1回以上参加していますか	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	7
(6) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(7) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
(8) 都道府県の生活習慣病診療等管理協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考に改善に努めていますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10
遵守されていない項目数	0	0	0	1	0	0	1	5	3	3	2
R0評価結果	A	A	A	B	A	A	B	B	B	B	
R5評価結果	A	A	A	B	A	A	C	B	B	A	
R5遵守されていない項目数	0	0	0	1	0	0	7	5	3	0	

[illegible]

問1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しているか
問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行っているか
問1-2-1*	受診勧奨を行った住民のうち受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行っているか
問1-3	対象者数(推計でも可)を把握しているか

問2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しているか
問2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか

問3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しているか
問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しているか
問3-2-1*	上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しているか

問4-1	精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を把握しているか
問4-2	精密検査方法及び、精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しているか
問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を、市区町村、診療機関(医療機関)、精密検査機関が共有しているか
問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を記録しているか
問4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しているか
問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行っているか

問5-1	がん検診結果と精密検査結果の最終報告(地域保健・健康増進事業報告)を行っているか
問5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できよう。既に報告を求めているか
問5-3	委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めているか
問5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できよう。既に報告を求めているか
問5-5	委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めているか

問6-1	受託先検査機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しているか
問6-1-1*	仕様書の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低の精度管理項目」を満たしているか
問6-1-2*	検査終了後、に受託先検査機関（医療機関）で仕様書の内容が遵守されたことを確認しているか
問6-2	検査機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしているか
問6-2-1*	「検査機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしているか
問6-2-2*	検査機関（医療機関）毎のプロセス指標値を累計してフィードバックしているか
問6-2-3*	上記の結果をふまえ、課題のある検査機関（医療機関）に改善案をフィードバックしているか

【7】受診率の推計

問7-1-1*	母給
---------	----

問7-1-2*	受診率を検診受診歴別に集計しているか
問7-1-3*	受診率を検診受診歴別に集計しているか

問3-1	「肺がん検診受診者中の高血圧群割合」、「高血圧群中の喫煙者割合配布割合」、「喫煙者群配布中の収率率」、「肺がん検診受診者中の喫煙者収率割合」を計算している。
問3-1・1*	「肺がん検診受診者中の高血圧群割合」、「高血圧群中の喫煙者割合配布割合」、「喫煙者群配布中の収率率」、「肺がん検診受診者中の喫煙者収率割合」を、性別・5歳階級別に計算している。
問3-1・2*	「肺がん検診受診者中の高血圧群割合」、「高血圧群中の喫煙者割合配布割合」、「喫煙者群配布中の収率率」、「肺がん検診受診者中の喫煙者収率割合」を、年齢階層別に計算している。
問3-1・3*	「肺がん検診受診者中の高血圧群割合」、「高血圧群中の喫煙者割合配布割合」、「喫煙者群配布中の収率率」、「肺がん検診受診者中の喫煙者収率割合」を、検診受診別に計算している。

問9-1	要精検率を集計しているか
問9-1-1*	要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか
問9-1-2*	要精検率を検診機関別に集計しているか
問9-1-3*	要精検率を検診受診歴別に集計しているか

問10-1	精検受診率を集計しているか
問10-1-1*	精検率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか
問10-1-2*	精検率を検診機関別に集計しているか
問10-1-3*	精検率を検診受診歴別に集計しているか
問10-2	精検未受診率を集計しているか

問11-1	がん発見率を集計しているか
問11-1-1*	がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計しているか
問11-1-2*	がん発見率を検診機関別に集計しているか
問11-1-3*	がん発見率を検診受診歴別に集計しているか

問12-1	陽性反応適中度を集計しているか
問12-1-1*	陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計しているか
問12-1-2*	陽性反応適中度を検診機関別に集計しているか
問12-1-3*	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しているか

問13-1	早期がん割合を集計しているか
問13-1-1*	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しているか
問13-1-2*	早期がん割合を検診機関別に集計しているか
問13-1-3*	早期がん割合を検診受診歴別に集計しているか

A:0 B:1-8 C:9-16 D:17-24 E:25-32 F:33以上 Z:無回答

A:0 B:1-8 C:9-16 D:17-24 E:25-32 F:33以上 7:無回答

肺がん検診精度管理関連指標(R2-R4)

		R4	R3	R2	3年合計	R4	R3	R2	3年合計	R4	R3	R2	3年合計	がん発見率 (R2-R4)	陽性適中度 (R2-R4)
		受診者数	受診者数	受診者数	受診者数	要精検者 数(E判定)	要精検者数 (E判定)	要精検者数 (E判定)	要精検者数 (E判定)	がん発見数 (E判定)	がん発見 数	がん発見 数	がん発見 数		
1	村上市	9,964	10,132	8,633	28,729	147	151	133	431	0	1	1	2	0.01	0.46
2	関川村	622	633	632	1,887	8	8	7	23	0	0	0	0	0.00	0.00
3	粟島浦村	125	159	0	284	0	3	0	3	0	0	0	0	0.00	0.00
4	新発田市	12,080	11,962	10,150	34,192	97	117	96	310	2	2	1	5	0.01	1.61
5	阿賀野市	4,193	4,053	3,304	11,550	30	39	33	102	0	0	0	0	0.00	0.00
6	胎内市	3,477	3,445	3,388	10,310	35	26	44	105	0	0	0	0	0.00	0.00
7	聖籠町	1,642	1,603	1,400	4,645	16	8	13	37	0	0	0	0	0.00	0.00
8	五泉市	3,767	3,882	3,663	11,312	10	13	36	59	1	0	1	2	0.02	3.39
9	阿賀町	1,440	1,508	1,600	4,548	6	13	11	30	0	0	1	1	0.02	3.33
10	三条市	9,339	9,367	9,040	27,746	72	81	98	251	1	0	3	4	0.01	1.59
11	燕市	5,916	5,318	4,335	15,569	19	24	29	72	2	0	3	5	0.03	6.94
12	加茂市	3,150	3,201	2,761	9,112	17	25	21	63	0	1	0	1	0.01	1.59
13	田上町	1,424	1,459	1,421	4,304	13	16	19	48	0	2	0	2	0.05	4.17
14	弥彦村	988	997	926	2,911	8	12	20	40	0	0	0	0	0.00	0.00
15	長岡市	20,269	18,867	14,327	53,463	200	200	144	544	9	7	8	24	0.04	4.41
16	見附市	5,469	5,143	4,596	15,208	37	37	49	123	2	1	1	4	0.03	3.25
17	出雲崎町	707	689	633	2,029	4	7	14	25	0	0	1	1	0.05	4.00
18	小千谷市	4,258	4,289	4,230	12,777	24	52	48	124	1	6	0	7	0.05	5.65
19	魚沼市	4,790	4,668	4,023	13,481	18	24	19	61	0	0	0	0	0.00	0.00
20	南魚沼市	6,357	6,257	5,232	17,846	23	32	68	123	1	2	1	4	0.02	3.25
21	湯沢町	990	954	894	2,838	14	8	15	37	1	0	0	1	0.04	2.70
22	十日町市	6,047	6,114	6,172	18,333	34	40	86	160	0	2	0	2	0.01	1.25
23	津南町	1,255	1,289	1,229	3,773	3	9	22	34	0	0	0	0	0.00	0.00
24	柏崎市	12,010	12,062	11,281	35,353	162	169	184	515	12	8	3	23	0.07	4.47
25	刈羽村	512	478	507	1,497	3	11	13	27	0	0	0	0	0.00	0.00
26	上越市	15,821	14,390	13,241	43,452	494	577	537	1,608	4	8	5	17	0.04	1.06
27	妙高市	3,530	3,425	3,420	10,375	71	122	118	311	0	2	2	4	0.04	1.29
28	糸魚川市	3,356	3,297	3,156	9,809	70	104	88	262	1	4	2	7	0.07	2.67
29	佐渡市	8,768	8,513	6,723	24,004	29	22	52	103	0	1	1	2	0.01	1.94
30	新潟市	33,121	32,394	23,856	89,371	552	540	435	1,527	24	30	17	71	0.08	4.65
	合計	185,387	180,548	154,773	520,708	2216	2490	2452	7,158	61	77	51	189	0.04	2.64